

取扱説明書

モリタ 手摺 作業用踏台 アルミ 高強度用

このたびは、手摺 作業用踏台アルミ高強度用をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。 **注文コード:53316140**
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。 **53316158**
また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。 **53316176**
53316185

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。
いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

⚠ 危険 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれ大きい」内容です。

⚠ 警告 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。
また、本製品の分解・改造・修理は、決して行わないでください。

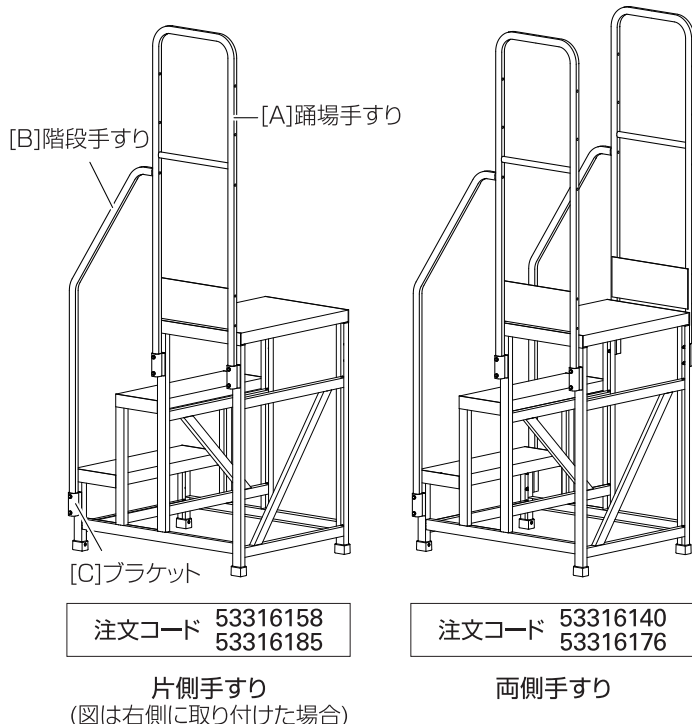
⚠ 危険

- 本製品は電気を通すので、配線に触れると感電し、重大な事故につながる危険がある。

⚠ 警告

- 本製品を、対象機種以外の製品に取り付けて使用しない。
誤った使用法や用途以外の使いかたをすると、転倒や転落による重大な事故のおそれがある。
- 本紙裏面の「組立方法」に従って、作業用踏台本体に確実に取り付けること。
- 作業する時は、手すりに寄りかかったり、押したり引いたりしないこと。手すり破損したり、不安定になるなど、転倒や転落のおそれがある。
- 手すりに足を乗せたり体重を掛けたりしない。足が滑ったり手すりの破損によって、転倒や転落のおそれがある。
- 使用前に各部の曲がりや、ボルトの緩みがないか点検を行う。ボルトの緩みがある場合は増し締めして使用すること。
- 本製品に異常があった場合、自分の判断で、手直しや補修は絶対にしない。本体や金具の破損が起こり、転倒や転落など事故の原因になる。
- 加工や改造をしない。製品の破損による転倒や転落のおそれがある。

2 構成部品



【はじめに】 ●構成部品が全てそろっていることをご確認ください。

	[A] 踊場手すり	[B] 階段手すり	[C] ブラケット
部品名称			
片側手すり	1	1	3
両側手すり	2	2	6
	[D] ワッシャー(M6)	[E] スプリングワッシャー(M6)	[F] ナット(M6)
部品名称			
片側手すり	6	7	6
両側手すり	12	14	12
	[G] ボルト(M6×60)	[H] ボルト(M6×40)	
部品名称			
片側手すり	6	1	
両側手すり	12	2	

※ボルト類はそれぞれの梱包に付属している合計の数です。
※締結部品(ボルト等)は鉄の亜鉛メッキ品です。

③ 組立方法

【必要工具】六角レンチ(M6用)×2本

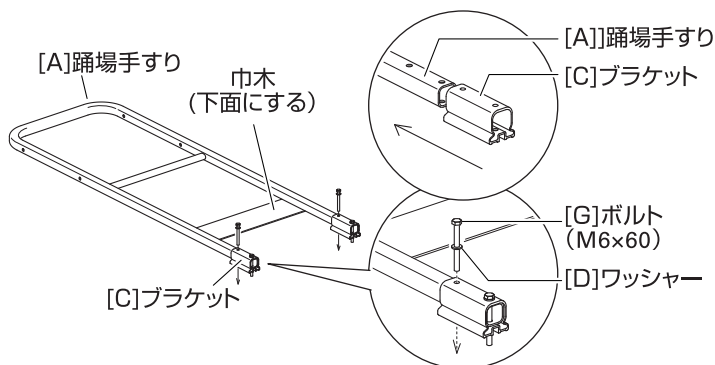
- 【はじめに】※手すりのブラケットは、ボルト・ナットをしっかり締め付けることで少し変形し、ぐらつき無く手すりを固定することができます。組み立て後はぐらつきが無いかを確認してください。
- ※焼き付けを防止するため、ボルト・ナットはゆっくり締め付けてください。また、電動工具を使用しての締め付け作業は絶対に行わないでください。
- ※組み立て後の本製品は取り外して、再利用することも可能です。部品の保管・管理は自己責任でお願いいたします。

組立手順

全ての手すりは左右共通です。ここでは右側へ取り付ける場合を説明しています。左側に取り付ける場合は取り付け位置を反対にし同手順で取り付けてください。(両側手すりの場合も同手順)

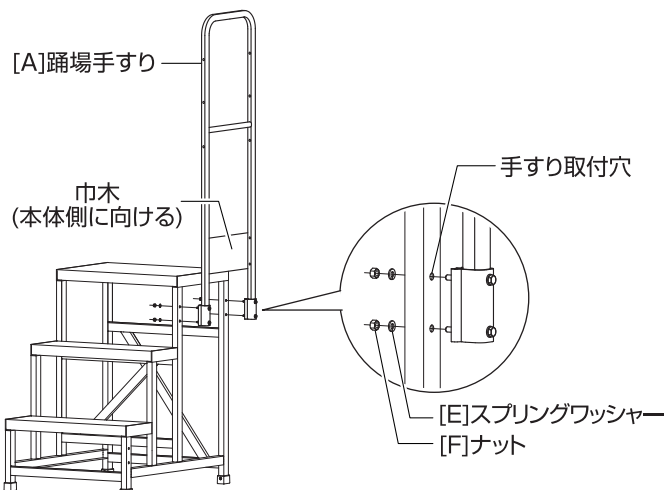
1

- ①[A]踊場手すりの巾木を下面にして、下部に[C]ブラケットを挿入する。
- ②[G]ボルト(M6×60)に[D]ワッシャーを通し、[C]ブラケットに通す。



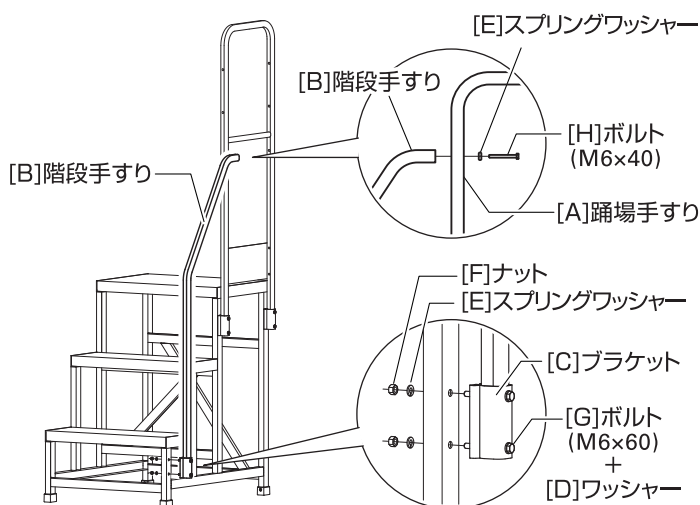
2

- ①作業用踏台本体の手すり取付穴に、手順1で[C]ブラケットが取りついた[A]踊場手すりを、支柱の内側から[E]スプリングワッシャーと[F]ナットで仮締めをする。
- ②巾木が本体側にあることを確認する。



3

- ①[B]階段手すりの下部に[C]ブラケットを挿入する。
- ②[G]ボルト(M6×60)に[D]ワッシャーを通して[C]ブラケットに通す。
- ③手順2の[A]踊場手すりと同様に、[B]階段手すりを作業用踏台本体に仮締めをする。
- ④①②で[C]ブラケットと[G]ボルト(M6×60)を取り付けた[B]階段手すりを、支柱の内側から[E]スプリングワッシャーと[F]ナットで仮締めをする。
- ④[A]踊場手すりとは[B]階段手すりを[H]ボルト(M6×40)と[E]スプリングワッシャーで仮締めをする。



4

【全ての仮止めが完了後】仮締めしたブラケット部のボルトを手すりのぐらつきが無くなるまでしっかり締め付け、固定する。

⚠ 【組み立て後】 作業用踏台本体を軽くゆすって、ガタツキなどの異常がないかを確認してください。